

5年1組 道徳学習指導案

平成19年6月4日(月)

場所 5年1組教室

- 1 資料名 『友のしょうぞう画』 (2-(3)) 友情・信頼、助け合い
- 2 ねらい 互いに認め合い、助け合うことのできる、真の友情を大切にしていこうとする気持ちを育てる。
- 3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

人間関係を結びつけ、社会生活を成立させる基本は、「信頼」である。信頼関係が築けていけば、互いに相手を認め、協力し合い、助け合う関係が生まれ、人間尊重につながる。児童にとって信頼関係を築いていくための土台は「友情」である。純真な児童の時期に利害関係のない純粋な友情を大切に育てたい。

(2) 子どもの良さと可能性を生かして

最近、運動会も終わり、個人差はあるにせよ友達と協力しながら1つのことに取り組んでいくことで仲間を思いやる大切さを感じている本学級の児童である。

また学級目標の1つにもなっている「チームワーク」を大切にしていけることを朝の会に全員で読むことで「友情は大切なものである」と意識はしている。しかしながら、本学級の児童はこれから思春期を迎え「心の揺れ」を感じ始めていく。

友だちの些細な行動が気になり、友だちとの関係を保つために、それが相手のことを本当に思いやった考えであっても、伝えることを避けてしまい、どうしても自分の気持ちを素直に伝えることができない姿も見られるであろう。この授業が、児童が友だちと認め合い、助け合うことがどのようなことであるか、人と人との間に存在する「友情・信頼」というものがどのようなものであるかを考える良い機会になればと思う。また、ワークシートに書くことにより、自分の考えをもって話し合いに参加できるようにする。

(3) 資料について

和也と正一は幼なじみでいつも一緒に行動していたが、正一の難病のため別れ別れになってしまう。二人は文通し合うことを約束するのだが、そのうちに正一から手紙が来なくなってしまふ。「なぜだろう。」と思いながらも和也の方もなんとなく手紙を書かなくなり、二人の文通は途絶えてしまふ。一年が過ぎ、テレビで正一の学校のこと(作品展)が紹介される。作品展に出かけた和也は「友のしょうぞう画」と題された正一の作品を見つけ、初めて正一から手紙が来なくなった理由を知るのである。

似たような体験をした児童は本学級には、いないであろうが、友情・信頼というものが、どのようなものであるのかを考えていく機会となるためにも、導入の部分では、価値への方向づけとなるよう、視覚に訴える手立てをとったり、終末の持ち方にも工夫したりするなど学習過程を組み立てていきたい。

5 本時の学習

(1)ねらい 互いに認め合い、助け合うことのできる、真の友情を大切にしていこうとする気持ちを育てる。

(2)準備 資料『友のしょうぞう画』・フラッシュカード・ワークシート

	学習活動	児童の活動と意識の流れ	支援(○)と評価(◎)
導 入	1 資料について 関心を持つ。 (5)	〈教室掲示してある、学級目標や集合写真を見て、今までを振り返る。〉	○友達と過ごしてきた学校生活を想起し、価値への方向づけをする。
展 開	2 資料を聞いて、 話し合う。 (25)	<p>〈和也は、いつまでもいつまでも手をふりながら、どんなことを考えていたのでしょうか。〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正ちゃん、病気なんか負けるなよ。ぼく、応援しているからね。 ・離れてしまうのは、さみしいけれどいつまでも友達だよ。 ・きっとまた会えるから、ぼくも正ちゃんに負けないように頑張ろう。 <p>〈正ちゃんからの手紙が来なくなってしまったとき、和也はどんな気持ちだったのでしょうか。〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病気の具合が悪くなってしまったのかな。大丈夫だろうか。 ・もう一度ぼくから、手紙を書いてみようかな。 ・ぼくのことなんて、忘れてしまったのかな。 ・あれだけ約束したのに…。何で手紙を書いてくれないんだろう。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>《「友のしょうぞう画」という作品を見つけたとき、和也はどんな気持ちになったのでしょうか。》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくのことを忘れていなかったんだ。ありがとう、正ちゃん。 ・正ちゃんは頑張っていたんだ。手紙が来なくても、ぼくから出してあげれば良かったな。 ・離れていても、二人の友情はいつまでも変わらない。 ・ぼくのことを思って、この作品を一生懸命作ってくれた…。手も不自由なのに…。自分が恥ずかしい。 </div>	<p>○資料を教師が読み聞かせる。</p> <p>○「和也」の気持ちを中心にした発問をすることで考えを深めていけるようにする。</p> <p>○発言しやすい雰囲気づくりをする。</p> <p>◎友情について考えている。</p> <p>○児童が自分自身と語り、考えをもてるように、ワークシートに書かせる。</p>
	3 自分自身のことを考える。 (10)	〈今までに、友達のことを思って、助けたり励ましたりしたことがありますか。それはどんなときですか。〉	○より深く自己を見つめるために、その時の気持ちや考えまで問いかける。
終 末	4 教師の説話を聞く。 (5)	〈最後に、先生から1組のみんなへ詩を贈ります。〉	友情をテーマにした歌詞を紹介する。 (曲も流す)